

次の漢文の書き下し文と現代語訳を書きなさい。送り仮名を一部省略しています。

( 1 ) 死馬且買之、況生者乎

死馬すら且つ之を買ふ、  
況んや生ける者をや

死んだ馬でさえ買うのだ、  
まして生きている馬なら  
なおさら高く買うだろう

( 2 ) 將軍且死、妾安用生為

將軍すら且つ死せり、  
妾安くんぞ生を用ひんや

將軍さえも死んでしまったのに、  
私がどうして生きていたらようか  
(いや、生きてはいられない)

※妾：わたくし

( 3 ) 臣死且避、卮酒安足辞

臣死すら且つ避けず、  
卮酒安くんぞ辞するに足らん

私は死ぬことさえ何も思わない。  
大杯の酒などどうして辞退しようか

※卮酒：大杯の酒

( 4 ) 子且然、況高綱乎

子すら且つ然り、況んや高綱をや

ましてこの高綱ならなおさらそうである  
あなたでさえそうだ、

( 5 ) 顔回尚不能過、況其余乎

顔回すら尚ほ過ち無き能はず、  
況んや其の余をや

顔回でさえ過ちがないことはあり得ない  
まして他の者であればなおさらのことだ

※顔回：人名  
孔子の高

( 6 ) 父母且不顧、何言子与妻

父母すら且つ顧みず、  
何ぞ子と妻とを言はん

父母さえも顧みないのに  
どうして子や妻のことを口にしようか  
(いや、口にしない)

( 7 ) 至於犬馬、一尽然、而況於人乎

犬馬に至るまで尽く然り、  
而るを況んや人に於いてをや

犬や馬のようなものまでことごとくそう  
まして人間であればなおさらである